



いちご営農情報（台風対策）

R3年9月28日 JA はが野・芳賀農業振興事務所

定植後の日照不足により、根張りの不良、生育遅延が見られます。さらに、ほ場によっては、台風による浸水等の影響が予測されます。以下の点に注意し管理をお願いします。

○台風により浸水等の影響をうけた場合の管理

✓ ほ場の排水対策、ベットの修復

- ・ 降雨により浸水・冠水したほ場では、小型ポンプによる強制排水を行う等、速やかに排水を行う。
- ・ 浸水等によりベットが崩れたほ場では、土壌がある程度乾いてから崩れたベットの修復を行う
- ・ 強雨によりベットの表面が硬化したほ場では、ベットの上面を軽く中耕する。

✓ 苗管理

- ・ 浸水等により苗の根部が露出した場合、速やかに根部を覆土し、根部の乾燥を防ぐ。
- ・ 浸水等により新芽部分が土壌に埋没した場合、新芽部分の土壌を除き、土壌から露出した状態に戻す。

✓ 草勢回復対策

- ・ 強風により苗がもまれた場合、葉面散布（メリット青等）を行う（草勢回復）。
- ・ 浸水等があったほ場では、発根促進のため酸素供給剤（はが野ルートパワー α 液剤等）や発根促進剤（ハッコソL等）を使用する。

✓ 炭疽病対策

- ・ ゲッター水和剤（収穫開始21日前）やサンリット水和剤、セイビアーフロアブル20等を丁寧に散布する。
- ・ 浸水等により苗に土が付着した場合、土を洗い流すように薬剤散布を行う。